

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型(小学校)

学 校 名 等	安八町立結小学校
実 施 日 時	令和7年11月14日(金)
会 場	結小学校 体育館
参 加 人 数	2・3年生保護者54名
学習課題(分野)	外国のスポーツ(モルック)に触れよう
運営者の願い	外国のスポーツを体験することで、皆さんに「いろいろな文化に親しんでほしい」という思いを込めて行った。 楽しみながら新しいことに触れることで、家庭でも子どもと一緒に話題が広がり、いろいろなことへの興味につながればと願った。
学 習 の 内 容	
<目的> ・ フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を体験し、外国の文化に親しむ。 ・ 誰でも気軽に楽しめる活動を通して、保護者同士の交流を深める。 ・ ゲームを協力して進めることで、コミュニケーションづくりの大切さを感じる。 ・ 家庭でも取り組みやすい遊びを知り、親子のふれあいの時間につなげる。 <活動内容> ・ 指導者の紹介 ・ モルックについての説明(町のモルック協会の方) ・ モルック体験 <活動の様子> ・ 親子が横に並び、柔らかな雰囲気の中で活動が始まった。 ・ モルックの説明やルールを聞くと、わかりづらい言葉が出たときは、親子で確認する姿があった。 ・ 代表者が試し投げをして、投げ方やコツを学んだ。 ・ 最初は、児童が投げ、保護者が点数付けをし、児童が楽しく進められるように活動した。慣れてくると、児童も点数計算ができるようになった。 ・ 保護者も児童と一緒に投げ、競技や会話を楽しんだ。 ・ 投げる方向や強さを工夫しながら、皆で応援し合う姿が見られた ・ 試合を決めるような、思わず歓声が上がる“奇跡的な一投”も見られた。  <保護者の声> ・ 初めてのモルックでしたが、とても簡単で楽しく、あっという間の時間でした。 ・ 身体を動かしながら交流できてよかったです。 ・ 子どもでも大人でも楽しめるところが魅力的でした。 ・ チームで相談しながらプレイする場面が多く、自然と参加者同士の距離が縮まりました。 ・ 思わず歓声が上がるくらい、“奇跡的な一投”が見られて、とても盛り上がりました。 ・ 短い時間でルールを理解できて、家族みんなでやってみたいと思いました。	

親子で楽しめる

ルールが簡単で親子が一緒に取り組める競技のため、子どもも大人も楽しめた。“奇跡的な一投”は子どもの方が多かった!

家族みんなで楽しめる

今回体験したことで、家族でもやってみたいとの意見があった。家庭での子育ての役に立つ活動になった。